

2025
12/16 TUE
→
2026
3/22 SUN

Best Of

開館50周年記念 企画展

ベスト・オブ・會津八一

会場 新潟市會津八一記念館

開館時間 10時～18時（17時30分まで受付）

休館日 月曜日（ただし祝休日の場合は翌日）

年末年始（12月28日～1月3日）

入館料 一般 500円 大学生 300円

高校生 200円 小・中学生 100円

※団体20名様以上2割引、土日祝休日は小・中学生無料

主催 新潟市會津八一記念館

共催 新潟日報社

後援 BSN新潟放送

協力企業 浅川園、今成漬物店、大阪屋、里仙、葵酒造

同時開催



〈第19回〉會津八一の歌を映す
秋草道人賞・写真コンテスト
入賞入選作品展

〈第19回 秋草道人賞受賞作品〉

羽田 寿弘 氏（新潟県胎内市）

「春日野に おしてる月の ほがらかに
秋の夕べと なりにけるかも」

Aizu Yaichi



AIZU YAICHI
MEMORIAL MUSEUM

〒950-0088 新潟市中央区万代3-1-1
新潟日報メディアシップ5F
Tel.025-282-7612 (10:00～18:00)



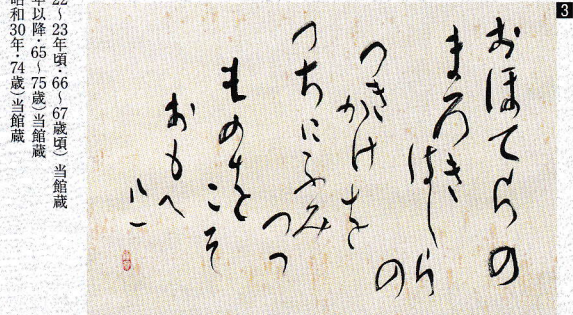
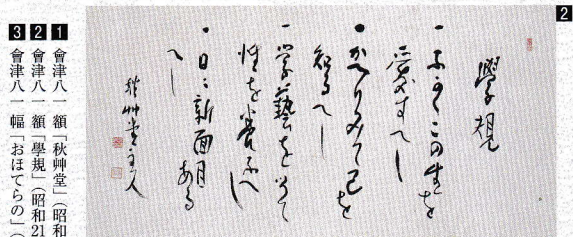
入館割引券
本券1枚で2名まで
2割引引き（1人1本券）
他の割引との併用不可
2026.3.22まで有効

會津八一

開館50周年最後の企画展は、当館が所蔵する1万2千点余の作品資料の中から、選りすぐりの逸品をご紹介します。

これまで当館では、會津八一が遺した作品資料を中心に、関係者やゆかりのある方々からの寄贈や寄託、購入などで収蔵品の充実を図ってまいりました。今回はそれらの中から、来館者や講演会参加者へのアンケート結果を踏まえ、人気の高かった「八一作品を展示いたします。また、当館職員が心惹かれる作品や、公開の機会が少ない資料など、ひと味違った視点から八一の芸術世界を紹介します。

さらに、本展では八一の教子で、日本テニス界創成期のス



1 會津八一 額「秋草」(昭和22、23年頃、66〜67歳頃) 当館蔵
2 會津八一 額「學問」(昭和21年以降、65〜75歳頃) 当館蔵
3 會津八一 額「おぼてらの」(昭和30年、74歳) 当館蔵

ター選手だった福田雅之助(1897〜1974)旧蔵の八一作品も展示いたします。福田は八一の門弟としてだけではなく、第1回全日本庭球選手権男子シングルス優勝者として知られ、デビスカップ、ウィンブルドンなど海外大会にも出場しています。中学3年生から八一が没するまでの長きにわたり知遇を得た福田は、八一の「学規」から影響を受けて、テニスの心得「庭球規」を定めています。「この一球は絶対無二の一球なり」から始まる名文句は、松岡修造氏がウィンブルドンでベスト8入りを決めた試合で叫んだことでも知られています。

EVENT INFORMATION 関連イベント

- 1 第4回 事前申込制**
「日本の書の流れ
— 平安から會津八一まで —

講師 | 笠嶋忠幸氏
(出光美術館学芸部長・上席学芸員)

日時 | 2026年1月18日(日)
14:00〜15:30

会場 | 日報ホール
(新潟日報メディアシップ2階)

聴講料 | 1,000円(入館料込み) 定員 | 130名
- 2 第5回 事前申込制**
「文人 會津八一の魅力」

講師 | 野中吟雪氏
(新潟市會津八一記念館館長)

日時 | 2026年3月8日(日)
14:00〜15:30

会場 | 日報ホール
(新潟日報メディアシップ2階)

聴講料 | 1,000円(入館料込み) 定員 | 130名
- 3 野中吟雪 館長による 作品鑑賞会**

日時 | 2026年1月25日(日)
14:00〜 約50分

会場 | 当館展示室
(申込不要/要当日観覧券)
- 4 学芸員による 作品解説会**

日時 | 会期中の第2・4日曜日
1/11(日)、1/25(日)
2/8(日)、2/22(日)
3/8(日)、3/22(日)
11:00〜 約50分

会場 | 当館展示室
(申込不要/要当日観覧券)

5 「會津八一の歌を映す」第19回 秋艸道人賞 写真コンテスト入賞入選表彰式・公開講評会 事前申込制

【日時】2026年2月8日(日) 午後2時〜4時(予定) 【講評】浅井慎平氏(写真家)、村尾誠一氏(東京外国語大学名誉教授)、若松保広氏(仏像写真家)を予定
【会場】新潟グランドホテル(〒951-8052 新潟市中央区下大川前通3ノ町2230番地) 【定員】80名 【聴講料】無料 ※事前申し込みが必要です

〈新潟市長賞〉
「都辺を」
安藤勝氏
(新潟市西蒲区)

〈胎内市長賞〉
「み雪降る」
高橋ノリユキ氏
(新潟市北区)

〈新潟日報社賞〉
「ほほゑみて」
竹田捷幸氏
(新潟県上越市)

〈BSN賞〉
「牡鹿鳴く」
中嶋真由美氏
(奈良県奈良市)

〈八栗寺わたつみ賞〉
「我妹子を」
山口晴久氏
(大阪府池田市)

〈審査員特別賞〉
「はつ夏の」
藤井則子氏
(新潟市西蒲区)

イベント1・2・5の申し込み方法 ※イベント1と2と5の聴講をご希望される方は、専用申込フォームかはがきのいずれかでお申し込みください。はがきの場合、参加を希望するイベント名と、住所、氏名、電話番号を明記のうえ、會津八一記念館までお送りください(ただし1通につき1イベント、1名様での応募といたします)。定員に達し次第締め切ります。

専用申込フォームはこちら
開催日の7日前迄にお申し込みください

期間中、本展覧会名を2人の書家による揮毫で展示室前に掲示しています。
● 12月16日〜2月8日：岩田香烟先生(新潟県書道協会参事)
● 2月10日〜3月22日：今井正舟先生(新潟県書道協会参事)



〒950-0088 新潟市中央区万代3-1-1 新潟日報メディアシップ 5F
TEL.025-282-7612 / FAX.025-282-7614 / MAIL: info@aizuyaichi.or.jp
当館へはメディアシップのエレベーターをご利用ください。(階段はございません)
◎ 交通のご案内 新潟駅からバス約9分、タクシー約5分、徒歩約15分、新潟空港からタクシー約15分
◎ 駐車場のご案内 メディアシップ駐車場(24時間営業) 第1駐車場は220円、第2駐車場は200円(第1、第2共に30分 税込)
※周辺には、万代シティ駐車場、朱鷺メッセ駐車場などもございます。

